

# 「年末手当」第2回団体交渉開催

## ◎会社側の現時点での考え方

「前回第1回団体交渉に話した考え方と同様。」

## ◎組合主張

- ・これまでの効率化施策や休 みもなかなか取れない中で社員は疲弊している。これまでの社員の頑張りに報いるべき。
- ・物価高は続いており、生活を圧迫している。
- ・離職者は現在でも多く、今回の年末手当の回答の数字は重要であるという認識をしっかりと持って頂きたい。
- ・会社は、協議の度に「先行きが不透明である。」と言うが、一体どうすれば、「先行き不透明」にならないのか。現時点の状況でしっかりと協議して頂きたい。
- ・社員の中には、副業を行っている社員も少なくは無い。副業しなければいけない状況であるということを会社は認識し、年末手当の数字を社員はしっかり見ている。社員のモチベーションの更なる低下にならない様にして頂きたい。
- ・55歳以上、嘱託再雇用社員に対しての一律10万円の一時金。嘱託再雇用社員について、社員と同様の支払い月数についても真剣に考えてもらいたい。
- ・12月8日の支給は、社員の支払いなどもあることを十分理解し対応して頂きたい。

次回 第3回「年末手当」団体交渉 11月17日(金) 15時

社員は「年末手当回答」に期待している！！